

デンタル切り出し画面



切り出し画像選択画面

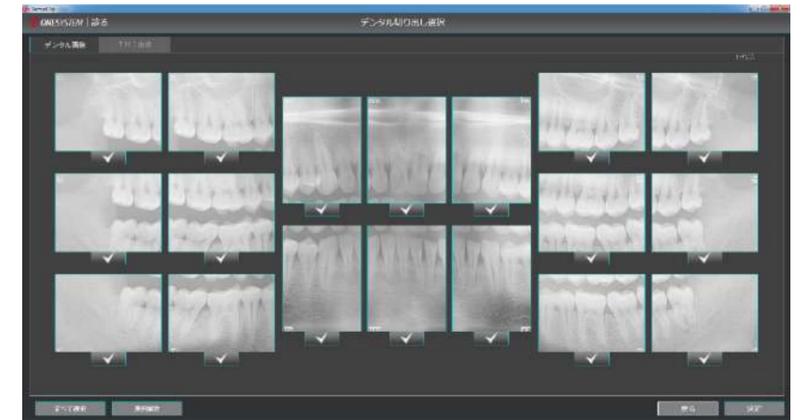


図1

呼び出し

1. 呼び出し  
撮影した患者のパノラマ画像を2Dビューアに読み込みます。2Dビューアにパノラマ画像が表示されている状態で  アイコンをクリックします。(図1)

図2

切り出し方法指定

2. 切り出し方法指定  
■切り出し方法を選択します。(図2)  
※ TMJ も同時に切り出す場合は「TMJ 追加」にチェックを入れます。

図3

コントロールポイント移動：

3. 位置調整  
コントロールポイントの移動：(図3)  
コントロールポイントにマウスカーソルを置いて、マウスの左ボタンを押しながら動かすと、スマイルラインを変更できます。

図4

フレーム調整：

フレーム調整：(図4)  
マウスの右ボタンを押しながら左右に動かすと、デンタル切り出し枠の左右の間隔を変更できます。また、上下に動かすと、デンタル切り出し枠の上下の間隔を変更できます。

図5

枠の移動：

枠の移動：(図5)  
デンタルまたは TMJ 切り出し枠にマウスカーソルを置き、マウスの左ボタンを押しながら動かすと、マウスカーソルが指す個別の枠を移動できます。

図6

枠の回転：

枠の回転：(図6)  
デンタル切り出し枠にマウスカーソルを置き、マウスの右ボタンを押しながら動かすと、マウスカーソルが指す個別の枠を回転できます。回転中にキーボードの **shift** キーを押すと、回転操作をキャンセルできます。

図7

切り出し

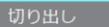
4. 切り出し  
 ボタンをクリックすると、画面が変わって画像が表示されます。(図7)

図8

画像転送～保存

5. 画像転送～保存  
 ボタンをクリックすると、チェックボックスにチェックが入っているすべてのデンタル切り出し画像が2Dビューアに転送されます。(図8)

 注意

- ONESYSTEM 断層調整画面は、撮影データの再構成を目的としたソフトウェア画面です。診断用の画面ではありませんので、断層調整画面上の画像にて診断を行わないでください。
- 断層調整画面の[Filter]を適用した場合、画像処理の影響により補綴物などのX線を透過しにくい部分の周辺が黒くなることがあります。この周辺が黒くなると二次カリエスの様に見えることがあるため、この場合には[Filter]を適用しない画像でも確認してください。
- パノラマ画像から切り出してデンタルサイズの画像を作成しています。そのためこの画像はパノラマ画像特有のゆがみを含んでいます。計測を行う際には充分にご確認ください。

デンタル切り出し画面



切り出し画像選択画面



図1

呼び出し 上：撮影画像取得画面  
下：断層調整画面

図2

切り出し方法指定

図3

コントロールポイント移動：

図4

フレーム調整：

図5

枠の移動：

図6

枠の回転：

1. 呼び出し  
パノラマ撮影を行い、ONESYSTEMの撮影画像取得画面または断層調整画面を表示します。 **切り出し** ボタンをクリックします。(図1)

2. 切り出し方法指定  
■切り出し方法を選択します。(図2)  
※ TMJも同時に切り出す場合は「TMJ追加」にチェックを入れます。

3. 位置調整  
コントロールポイントの移動：(図3)  
コントロールポイントにマウスカーソルを置いて、マウスの左ボタンを押しながら動かすと、スマイルラインを変更できます。

フレーム調整：(図4)  
マウスの右ボタンを押しながら左右に動かすと、デンタル切り出し枠の左右の間隔を変更できます。また、上下に動かすと、デンタル切り出し枠の上下の間隔を変更できます。

枠の移動：(図5)  
デンタルまたはTMJ切り出し枠にマウスカーソルを置き、マウスの左ボタンを押しながら動かすと、マウスカーソルが指す個別の枠を移動できます。

枠の回転：(図6)  
デンタル切り出し枠にマウスカーソルを置き、マウスの右ボタンを押しながら動かすと、マウスカーソルが指す個別の枠を回転できます。回転中にキーボードの **shift** キーを押すと、回転操作をキャンセルできます。

図7

切り出し

図8

画像出力準備

図9

画像転送～保存

4. 切り出し  
**切り出し** ボタンをクリックすると、画面が変わって画像が表示されます。(図7)

5. 画像出力準備  
**決定** ボタンをクリックすると、左上部分に **Drag** アイコンが表示されます。(図8)

6. 画像転送～保存  
左上隅の「Drag」アイコン **Drag** をマウスの左ボタンで Trophyビューアのビューア画面にドラッグします。画像がビューアに転送されます。(図9)

※ 転送画像を自動整列する設定について：  
デンタル切り出し画像を Trophyビューアに転送する場合、予めビューアのフォーマット選択画面からFMS2フォーマットを選択しておきます。FMS2フォーマットに「Drag」アイコン **Drag** をドロップすると、デンタル切り出し画像が自動的に整列した状態で転送されます。

**注意**

- ONESYSTEM 断層調整画面は、撮影データの再構成を目的としたソフトウェア画面です。診断用の画面ではありませんので、断層調整画面上の画像にて診断を行わないでください。
- 断層調整画面の[Filter]を適用した場合、画像処理の影響により補綴物などのX線を透過しにくい部分の周辺が黒くなることがあります。この周辺が黒くなると二次カリエスの様に見えることがあるため、この場合には[Filter]を適用しない画像でも確認してください。
- パノラマ画像から切り出してデンタルサイズの画像を作成しています。そのためこの画像はパノラマ画像特有のゆがみを含んでいます。計測を行う際には充分にご注意ください。